

## 総務常任委員会報告事項資料

資料 番号	資 料 名	担 当 課
1	小田原市防災行政無線試験放送の変更について	防災対策課
2	小田原市木質バイオマスエネルギー導入計画策定業務について	エネルギー政策推進課

平成28年 7 月 26 日



## 小田原市防災行政無線試験放送の変更について

### 1 変更内容

#### (1) 曲

現在、防災行政無線の試験放送の曲として「赤とんぼ」を使用しているが、小田原にゆかりの深い詩人である北原白秋の童謡曲「ゆりかごのうた」とする。

#### (2) 放送時間

夏季（４月～９月）                      １８時 → １７時  
 冬季（１０月～３月）                    １６時（変更なし）

### 2 変更予定日

平成２８年１０月１日（夏季と冬季の放送時間の切替日）から

### 3 県西市町の状況

市町村名	放送曲	放送時間	
		夏季	冬季
南足柄市	夕焼け小焼け	１７時	１６時
中井町	夕焼け小焼け	１７時	１６時３０分
大井町	夕焼け小焼け	１７時	１６時
松田町	家路	１７時	１６時
山北町	七つの子	１７時	１６時
開成町	七つの子	１７時	１６時
箱根町	箱根八里	１７時	１６時
湯河原町	アベマリア	１７時３０分	１６時３０分
真鶴町	家路	１７時	



小田原市木質バイオマスエネルギー導入計画策定業務について

1 計画策定の経緯及び目的

本市では、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、「小田原市地球温暖化対策推進計画」を策定しCO2削減を図るとともに、平成26年4月に「小田原市再生可能エネルギーの利用等の促進に関する条例」を施行、平成27年10月には「小田原市エネルギー計画」を策定し、太陽光やバイオマス等を利用して得られる再生可能エネルギーの導入を促進するなど、低炭素社会の実現による持続可能な地域づくりを推進している。

その一環として平成28年度は、地域資源である木質バイオマス資源の持続的活用に向けた賦存量の詳細な調査や、木質バイオマス燃料利用設備の仕様等の調査を行い、供給と需要の一体的創出、低炭素と自然共生の同時達成に向けたバイオマスエネルギー利用計画を策定する。

更に、木質バイオマス事業の実施にとどまらず、里地里山と都市部、そして相模湾が近接する小田原の特色を活かしたコンパクトなエネルギー循環・地産地消モデルの提示を目的とする。

2 導入計画のイメージ

小田原の特色を活かしたコンパクトな木質バイオマスエネルギー市内循環・地産地消モデル



### 3 委託内容

#### (1) 供給側の調査

木質バイオマス燃料の供給に係る調査を行うとともに、木材の安定供給体制のあり方や望ましい体制づくりについて、林業関係団体及び林業事業者等へのヒアリング等を踏まえて検討する。

#### (2) 需要側の調査

熱需要を有する市内事業者へのヒアリング等を実施するとともに、導入候補となる施設の絞り込み、熱利用設備の選定などにより、安定的な採算性を確保するための需要量の算出及び需要先の検討等を行う。

#### (3) 地域でバイオマス事業を運営する仕組の検討

地域でのバイオマス事業の運営において、木材調達からバイオマス燃料供給までの需要と供給を円滑につなぐ仕組や地域エネルギー事業者の役割について検討・検証を行う。

#### (4) 事業採算性の検証

供給側、需要側の調査結果を踏まえ、安定的な木質バイオマス燃料の供給体制及び事業採算を踏まえた生産、加工流通及び利用について検討を行う。また、木質バイオマス事業そのものの事業性のみならず、エネルギーの地域循環やCO<sub>2</sub>削減効果、そして間伐材の活用による生物多様性・森林の保全等が生み出す付加価値を含めた総合的な事業性について検討を行う。

#### (5) 懇談会の運営

(1) から (4) の検討にあたって、官民協働による懇談会を3回程度開催し、意見を聴取するとともに必要な助言をいただき検討を進める。

構成員 (10名程度) : 林業関係者及び木質バイオマス燃料製造事業者 (供給側)

熱需要をもつ事業者 (需要側)

地域エネルギー事業者 (供給側と需要側をつなぐ役割)

神奈川県及び学識経験者等 (有識者)

#### (6) 木質バイオマスエネルギー導入計画案の策定

持続可能な木質バイオマスエネルギー利用につき、先行事例調査や有識者からのヒアリング等も踏まえ、エネルギーの地域循環やCO<sub>2</sub>削減効果、そして生物多様性の観点も踏まえた実現可能な木質バイオマスエネルギー導入計画案を策定する。

## 4 事業者の選定

本事業の委託事業者を公募型プロポーザル方式により、6月9日(木)から28日(火)まで募集した。

### (1) 審査結果

参加申請のあった10事業者に対し、小田原市木質バイオマスエネルギー導入計画策定業務公募型プロポーザル審査委員会において企画提案書の記載内容及びプレゼンテーション内容を総合的に審査し、最優秀提案者及び優秀提案者を選定した。

最優秀提案者：株式会社 森のエネルギー研究所

優秀提案者：三菱UFJリサーチ&コンサルティング 株式会社

### (2) 講評

最優秀提案者及び優秀提案者は、全国における木質バイオマス事業計画の策定、事業化につながる実績を有するとともに、未利用木質バイオマス材の供給量能力調査のみならず施業方法の改善や需要と供給をつなぐエネルギー事業者の役割に係る具体的な提案がなされ、特に実効性が高いものと判断された。

## 5 今後の進め方

本事業は木質バイオマス燃料の供給から需要までの一体的な創出を目指す事業であり、多くの関係者が存在することから、前述の懇談会を設置し、調査の進捗を踏まえながら意見を聴取するとともに必要な助言をいただき検討を進める。

## 6 財源

環境省より補助を受けた「公益財団法人イオン環境財団」による「平成28年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（木質バイオマス資源の持続的活用による再生可能エネルギー導入計画策定事業）」に採択された。

歳出予算額：10,000千円 補助金の額：10,000千円（10/10）

## 7 今後のスケジュール

7月下旬～8月上旬 業務委託契約締結、事業開始

8月下旬 懇談会の設置

平成29年2月 木質バイオマス導入計画策定

